

# 要望しています

～笠岡市の未来のために～

令和元年度  
決算認定  
要望事項



予算・決算において  
市に対し、議会から  
要望を付しています

9月定例会では、笠岡市の令和元年度一般会計等の決算の審査・認定を行いました。一般会計の決算認定で、8つの要望を付けて認定することとなりました。要望を市がどう取り扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。

## 笠岡市の 効果的なPRを

笠岡市の認知度アップやイメージアップに繋がるシティープロモーションについては、ポスター等への有名人の起用や人気のあるコラボ企画イベントの開催等、一過性のものにならないようにすること。

また、他の自治体にはない笠岡らしい企画、他のイベント企画との連携等を考慮した効果的な事業にすること。



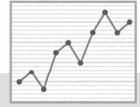
## 笠岡諸島の 受入体制整備を

離島振興事業として島の玄関口となる港の整備については、離島への航路の手段として一般の船舶も着岸できる施設の整備など、笠岡諸島の各島への受入体制を整え、日本遺産をはじめとする観光振興に繋がる事業になるようにすること。



## 調査・測定情報の 見える化を

定期的な測定・監視により生活環境の改善を図っていることを、基準を超えた場合の緊急情報のメールだけでなく、市民への安心安全のため、調査・測定情報を数値で見える化して、定期的に情報提供すること。



## 確実な避難を

災害時に避難する際、支援が必要な方の把握については、自主防災組織から情報提供をしていただき、漏れの無い避難ができるよう努めていただきたい。

また、その地区の利用可能な介護施設等の情報提供等を平時のうちに整備すること。



## ふるさと納税の さらなる推進を

ふるさと納税をしてくれた方のリピーターを把握し、丁寧な対応をすることによる納税者の確保を図るとともに、出品者の安定的な生産につなげるよう努力すること。



## 文化施設の連携を

点在する文化施設の連携を図り、各館の企画事業が効果的に展開できるようにすること。

また、予算や館内のスペース等制限があると思うが、限られた空間を工夫し、来館者に居心地良い場所を提供し、入館料等考慮した市民パスポートを考えるなど、広い年代に受け入れられる、親しみある施設にすること。



## 特産品の増強を

果樹栽培などにおいて、昔から培っている技術を活かし、生産性、利益率の高い品種を地域が連携して、市場に対応できる量と高品質な「かさおかブランド」も増やし、地域が儲かる施策を進めること。



## 健康づくり事業の さらなる推進を

健康づくり事業による体力増強・介護予防の効果や財政効果を市民と共有して施策を進めること。また、まちづくり協議会等による良い意味での地域間競争をしていただくためにも、賞金などの予算編成も視野に入れること。

